



明治大学アメリカンフットボール

GRIFFINS

甲子園ボウル優勝に向かって

超越



Starting line-up

Table with columns for OFFENSE and DEFENSE, listing player numbers, positions, names, and schools.

2024年度9月号-2-1

明治大学体育会アメリカンフットボール部グリフィンズ父母会

LEAGUE GAME 2th 2024年9月14日(土)K.O17:00 アミノバイタルフィールド天候:晴れ

Scoreboard table showing team names (慶應義塾大学 UNICORNS vs 明治大学 GRIFFINS) and scores by quarter (1Q, 2Q, 3Q, 4Q) and total score (27 vs 14).

Official record

Table showing play-by-play details including time, play type, player names, yardage, and PAT results.

チーム記録

Summary statistics table for both teams, including touchdowns, PATs, field goals, and other key metrics.

明治大学

Meiji University statistics table showing 3rd down success rate and other performance indicators.

Meiji University statistics table showing 4th down success rate and other performance indicators.

反則

Penalty statistics table for Meiji University, listing time, penalty name, and yardage.

個人記録 2024年9月16日(月) 確定

Individual player statistics table for Meiji University, listing player names and their performance in various categories.

明治大学アメリカンフットボール



GRIFFINS  
超越



2024年度9月号-2

明治大学体育会アメリカンフットボール部グリフィンズ父母会

アミノバイタルでの第2節の相手は慶應義塾大学

1Q

明治のキックで試合開始。

慶応最初の攻撃は2度のパスで自陣まで進められるも#40松田(4年生)のロスタックルが決まり4ダウンまで抑え、慶応はFGを選択するもキック失敗。

明治最初の攻撃は#34廣長(4年生)がランで前進するもパスが決まらずあっさりパント。

次の慶応攻撃ではミドルパスを通された後のタックルミスでロングゲインを許すとオプションフェイクからのパスにDB陣のコンビミスでレシーバーをフリーにしまいそのまま走られTDを許す0-7 慶応に先制を許してしまう。

同点に追いつきたい明治2回目の攻撃は自陣25y付近から開始。#21高橋(3年生)と#34廣長(4年生)のランが交互に展開されるがOLのしぶといブロックも決まり全てのプレーを2人のランプレーのみで最後は#34廣長(4年生)がTDを決める。7-7。



# 明治大学アメリカンフットボール



# GRIFFINS

## 超越



2024年度9月号-2-3

明治大学体育会アメリカンフットボール部グリフィンズ父母会

2Q

続く慶応リターンはハーフウェイまで戻されてしまい 厳しい位置からの守りとなるも#91山下(4年生)のロスタックルが決まると慶応のロングパスを#38立田(1年生)がインターセプトに成功しすぐさま攻撃権を奪う。しかし 次の明治攻撃では最初のプレーで左サイドにロングパスを投げるが 今度は逆にインターセプトされてしまう。勢いに乗った慶応は最初のパスが決まると、明治DBがまたしても中途半端なタックルを外され そのままTD7-14とされる。

春の明治ディフェンスの強みであった気合いの入った稲妻タックルや粘り強い集まりが全く影を潜める。

続く明治リターンは #3後藤(1年生)がブロッカーをうまく使い自陣40y付近までもどすと勢いの乗ったオフェンスは最初のプレーで#21高橋(3年生)が中央ランから一気に加速し63yを走り切りすぐさま同点とする14-14。

続くキックでロングリターンを許したくない明治は、#11加藤(4年生)がハードタックルを決めモメンタムを渡さない。

慶応は序盤から長身で1対1に強いエースレシーバーの#7にボールを集めるがパントの追い込む。前半残り時間8分。自陣25y付近からの明治攻撃は#15新楽(3年生)がDLのラッシュをかわし、落ち着いてスクランブルで前進すると#1桑村(3年生)のミドルパスも成功エース#34廣長(4年生)の中央ランで敵陣に侵入するが、その後は相手ブリッツにランを止められパントとなる。残り時間の少ないなか慶応のミドルパスが決まり始め、またもやパスを取られた後のタックルミスが目立つようになる。

その後#91山下(4年生)の激しいパスラッシュと#93古本(3年生)のタックルも決まるが相手エースWR7のパスキャッチから、明治セカンダリー陣のタックルミスが重なりゴール前まで走られると最後はアウトパターンにタイミングの良いパスを通されTD。14-21逆転とされ前半終了。



明治大学アメリカンフットボール

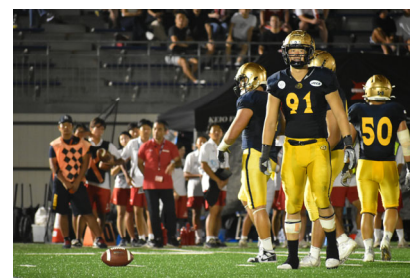
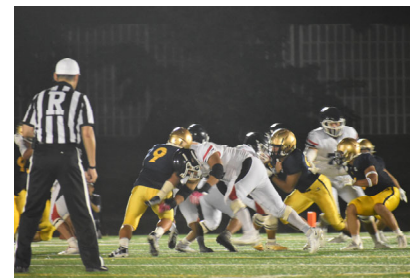


GRIFFINS  
超越



2024年度9月号-2-4

明治大学体育会アメリカンフットボール部グリフィンズ父母会



3Q

慶応キックで後半開始。

明治後半最初の攻撃は#21高橋(3年生)、#15新楽(3年生)のランのキープで敵陣まで侵入するも#34廣長(4年生)の中央突破でファンブル。攻撃権を慶応に奪われる。

慶応最初の攻撃は中央のランで自陣まで進められるが#50水野(2年生)と#96中村(2年生)のQBサックが決まりファーストダウンは更新させない。

しかし慶応は49yの長いFGを成功し24-14とリード広がる。

1本返したい明治オフェンスだが、次のシリーズもパスが決まらずパントに。#21高橋(3年生)と#34廣長(4年生)のランが確実にゲインを重ねている中でパスオフェンスが機能しない時間が続く。

その後相手のパントミスにより敵陣30y付近から攻撃権を得た明治は#11加藤(4年生)へのミドルパス、#15新楽(3年生)のQBカウンターでゴール前まで進むがこのプレーで痛恨の反則。更に無理して狙ったパスをインターセプトされ、FGの3点も得られず最終4Qとなる。

明治大学アメリカンフットボール

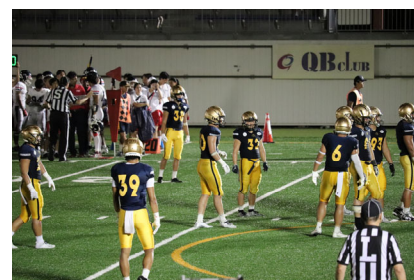


GRIFFINS  
超越



2024年度9月号-2-5

明治大学体育会アメリカンフットボール部グリフィンズ父母会



4Q

このインターセプトも大きくリターンされたうえに反則も発生し自陣40y付近からの慶応攻撃となる。しかしここは明治守備が粘りを見せ#6深尾(4年生)のロスタクルに#43大村(2年生)のハードタックルで相手パスを不成功にさせパントに。

点差を縮めたい明治だが、ここでもパスが決まらずチグハグな時間が続く。#4近藤(4年生)のパントは相手陣深くまで転がり慶応にプレッシャーを与える。

時間の無い明治は守備がランプレーをしっかり止め、敵陣深くからパントを蹴らせるが、相手のパンターに接触してしまう痛恨の反則で守備の踏ん張りを台無しにしてしまう。

その後勢いに乗る慶応ランにずるずる出され、自陣まで攻められると44yのFGを決められ 27-14。

この試合、パスを取られた後の集まりや粘り強いタックルが見られない。残り時間4分を切り、勝つためには必ずTDが必要なシリーズ#19五十嵐(3年生)のパスでハーフウェイ付近まで進むと#11加藤(4年生)へのロングパスが決まり相手ゴール前へここで4回ミドルパスを試みるが全て失敗。

このまま後半無得点で14-27 試合終了となった。

悔しい敗戦となった、今回の試合も反則が5回と明治らしい試合運びとはならなかった。

1敗を喫した明治は残りの試合を全て勝つ事で、望みを繋げてほしい。



明治大学アメリカンフットボール

GRIFFINS

超越



2024年度9月号-2-6

明治大学体育会アメリカンフットボール部グリフィンズ父母会

◆慶應義塾大学を振り返って

慶應義塾大学戦にて幹部を中心に選手、学生スタッフ、コーチ陣にインタビューを行いコメント頂きました。ご協力頂きました皆様、誠にありがとうございました。

◆インタビュー #6 主将 深尾 (LB)



◆インタビュー #34 副将 廣長 (RB)



◆インタビュー #57 副将 宮本 (OL)



■慶應義塾大学に敗戦を喫しましたが敗因あれば教えてください。  
前回の試合で出ていたミスを改善できなかったことや反則が多く試合の流れを自分たちで作れなかったことです。

■試合にて良かった所を教えてください。  
下級生の活躍がみられたことです。

■次戦の東京ドームにて桜美林大学戦への意気込みを教えてください。  
目の前の勝負に1つ1つこだわり、明治らしさを発揮し勝利します。

■慶應義塾大学に敗戦を喫しましたが敗因あれば教えてください。  
普段の八幡山のグラウンドでの練習と違い、アップの時から浮き足立っていました。その流れで試合に入り、反則やミスが立て続けに続いた事が要因です。

■試合にて良かった所を教えてください。  
平均してランを出し続けられたことです。

■次戦の東京ドームにて桜美林大学戦への意気込みを教えてください。  
この一週間でチームとしての組織をもう一度改めて見つめ直し、桜美林に全てをぶつきたいと思います。  
応援よろしくお願いいたします。

■慶應義塾大学に敗戦を喫しましたが敗因あれば教えてください。  
オフェンスのターンオーバーが多くて、やってはいけないところでの反則が目立ちました。

■試合にて良かった所を教えてください。  
前半でのオフェンスのテンポが前戦と同様に良かったところでした。

■次戦の東京ドームにて桜美林大学戦への意気込みを教えてください。  
絶対に負けられない試合なので、全力で勝ちに行きます。



明治大学アメリカンフットボール

GRIFFINS

超越



2024年度9月号-2-7

明治大学体育会アメリカンフットボール部グリフィンズ父母会

◆インタビュー #91 主務 山下 (DL)



■慶應義塾大学に敗戦を喫しましたが敗因あれば教えてください。  
ディフェンスとしては、タックル、集まりの甘さが出たことだと思います。また、前半の入りがいつも悪く、中央戦から改善しきれなかった点でした。

■試合にて良かった所を教えてください。

DLがどの状況でもラッシュをかけ続けていた点です。DL水野が2試合連続でサックを出来ている点は成長を感じました。

■次戦の東京ドームにて桜美林大学戦への意気込みを教えてください。

圧倒あるのみ。これ以上敗戦するわけにもいかないので、改めて波に乗るためにもただ勝つのではなく、圧勝しなければならないと思います。

◆インタビュー #9 守屋(4年生)(DL)



■慶應義塾大学に敗戦を喫しましたが敗因あれば教えてください。  
中央戦の課題にも挙げた、一対一のタックル精度と、大事な場面でイエローを出してしまう事が、勝敗を分けたと感じました。自分たちの詰めの甘さです。

■試合にて良かった所を教えてください。

ディフェンスラインの後輩たちは、一対一の勝負にこだわり、相手オフェンスにプレッシャーを掛けてくれたと思います。

■次戦の東京ドームにて桜美林大学戦への意気込みを教えてください。

ドーム戦に弱い明治は、去年で終わりです。圧倒的な試合を見せれるよう、最大限の努力をし試合に臨みたいと思います。

◆インタビュー #11 加藤(4年生)(WR)



■慶應義塾大学に敗戦を喫しましたが敗因あれば教えてください。  
中央戦と比較して全体の緊張感が欠けていたと思います。入りの部分から取り組み方を変えなければいけないと感じました。

■試合にて良かった所を教えてください。

しんどい場面になっても士気を落とさずに取り組む姿勢を保ち続けることができたのは良かったと思います。

■次戦の東京ドームにて桜美林大学戦への意気込みを教えてください。

4年生としてやるべきことをやり切ります。夜遅くの試合になりますが、応援の程よろしくお願致します。



明治大学アメリカンフットボール

GRIFFINS

超越



2024年度9月号-2-8

明治大学体育会アメリカンフットボール部グリフィンズ父母会

◆インタビュー #70 高橋(3年生)(OL)



◆インタビュー #77 大木戸(3年生)(OL)



◆インタビュー #21 高橋(3年生)(RB)



■慶應義塾大学に敗戦を喫しましたが敗因あれば教えて下さい。  
前半出ているプレーが後半にアジャストされてしまい、そのまま押し負けてしまいました。情けないです。

■試合にて良かった所を教えてください。  
相手のディフェンスに対して終始考えながらプレーをすることができました。その結果コンビネーションのミスは少なかったです。

■次戦の東京ドームにて桜美林大学戦への意気込みを教えてください。  
去年は怪我をしてしまったので、チームで一番楽しんでフットボールします！

■慶應義塾大学に敗戦を喫しましたが敗因あれば教えて下さい。  
ボールを相手に渡してしまったこと、大事な場面で反則を取られてしまい、得点を逃してしまったことです。

■試合にて良かった所を教えてください。  
ランプレーで多くゲインできたこと、ランプレーで2つタッチダウンをとれたことです。

■次戦の東京ドームにて桜美林大学戦への意気込みを教えてください。  
次戦から本当に負けが許されないで、今回の反省を活かし、自分のやるべき事を全うして絶対に勝利します。

■慶應義塾大学に敗戦を喫しましたが敗因あれば教えて下さい。  
目に見えるものとしては反則とターンオーバーの多さだと思います。やはりこの2つが多いとどんな良いODKをしても勝ちきれないことを再認識しました。

■試合にて良かった所を教えてください。  
RBとしては数字に残る走りはできたものの、劣勢の状況でオフェンスやチームを鼓舞し引っ張っていくことができなかったことは反省です。

■次戦の東京ドームにて桜美林大学戦への意気込みを教えてください。  
RBとしては毎試合同じ走りをするだけです。





明治大学アメリカンフットボール

GRIFFINS

超越



2024年度9月号-2-9

明治大学体育会アメリカンフットボール部グリフィンズ父母会

◆インタビュー #50 水野(2年生)(DL)



■慶應義塾大学に敗戦を喫しましたが敗因あれば教えてください。  
Defenseが、慶応Offenseを止めることができず、明治全体で良い流れにもっていくことができなかったところです。

■試合にて良かった所を教えてください。  
今回の試合で、QBサックを決めた事は良かったと思います。

■次戦の東京ドームにて桜美林大学戦への意気込みを教えてください。  
去年、東京ドームで、立教大学に敗戦したこともあり、去年負けた悔しさを桜美林大学にぶつけて、必ず勝利したいです。

◆インタビュー #96中村(2年生)(DL)



■慶應義塾大学に敗戦を喫しましたが敗因あれば教えてください。  
ディフェンスのタックルミスやインターセプトが目立ち、試合を通して慶應に Momentum を持たせてしまったところです。

■試合にて良かった所を教えてください。  
今回の試合で、QBサックを決めた事は良かった重要な所でのQBサックやディフェンスのインターセプトで試合には負けてしまったが何度か流れを持っていたことです。

■次戦の東京ドームにて桜美林大学戦への意気込みを教えてください。  
東京ドームでは二年連続で勝った試合を取り逃がしてしまっているので、QBサックやロスタックルなどでチームに貢献し、自分のプレーで勝ったという試合にします。

◆インタビュー #43 大村(2年生)(DB)



■慶應義塾大学に敗戦を喫しましたが敗因あれば教えてください。  
いつもの八幡山で出来ていたようなことが出来ていなく、いつもの通りのプレーが出来ていませんでした。

■試合にて良かった所を教えてください。  
特にありませんでした。基本的な動きやアサイメント理解の面でしっかりと見直して次戦に挑みます。

■次戦の東京ドームにて桜美林大学戦への意気込みを教えてください。  
今回の試合で出た反省をしっかりと見直し1プレー1プレーにこだわってプレーします。



### ◆櫻井監督

### ◆インタビュー #38 立田(1年生)(DB)



■慶應義塾大学に敗戦を喫しましたが敗因あれば教えてください。  
序盤からディフェンスでいい流れを作れなかったことです。

■試合にて良かった所を教えてください。  
サイズとスピードがある相手にもしっかりと戦えたことです。

■次戦の東京ドームにて桜美林大学戦への意気込みを教えてください。  
個人としては、2戦連続のインターセプトをし、ディフェンスでは全員で無失点に抑えます。

### ◆インタビュー オフェンスリーダー清本(4年生)(AS)



■慶應義塾大学に敗戦を喫しましたが敗因あれば教えてください。  
反則とターンオーバーで自分たちの流れに持っていくことができなかったことです。とくに反則の多さに関しては前節の中央戦からの課題であるため、チームとして直していかなければ行かない課題だと感じています。

■試合にて良かった所を教えてください。  
ランユニットに自信を持てたことです。試合展開的にランでゲームを作っていかなければならない状況でしたが、その中でランを継続して出すことができたところは収穫だと考えています。

■次戦の東京ドームにて桜美林大学戦への意気込みを教えてください。  
今回の敗戦により一敗もできない状態になったので全てを出し切るつもりで桜美林大学に勝ちに行きたいと思えます。

■慶應義塾大学に敗戦を喫しましたが敗因あれば教えてください。  
八幡山で培ってきたことを遂行することができなかった、そして、八幡山で出ているミスや出来ていないことがそのまま試合会場に出てしまったことになります。  
また、ファンダメンタルや戦術云々ではない、フットボールの基礎やIQで足りていないことがあったと考えています。

■試合にて良かった所を教えてください。  
勝敗がすべての秋リーグ戦において敗戦してしまっている以上、良い点を挙げるのは難しいのですが、本学のオフェンスの軸であるランプレーはコンスタントに出すことができた。  
そして、今年から試合に出るようになった選手やルーキーが要所で活躍するシーンがあった点になります。

■次戦の東京ドームにて桜美林大学戦への意気込みを教えてください。

慶應義塾大学戦は敗戦を喫してしまいましたが、まだ全く終わりではありません。  
ここから一つ一つ勝利を積み重ねていくためにも、自分たちがどう敗戦に向き合い、改めて勝利に拘って戦っていくかの大切な試合となります。  
春オープン戦において勝利は収めています。酷暑の中で集中力を継続することができなかった試合をした相手になり、会場は2年連続で逆転負けを喫している東京ドームとなります。  
19時キックオフ予定と大変遅い時間となりますが、熱いご声援を学生へお願い申し上げます。必ず勝ち切ります。



明治大学アメリカンフットボール

GRIFFINS

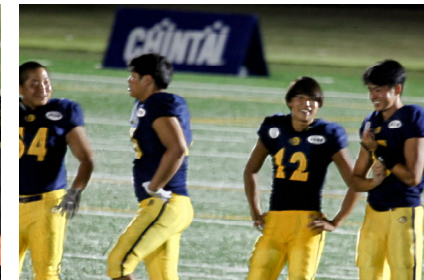
超越



2024年度9月号-2-11

明治大学体育会アメリカンフットボール部グリフィンズ父母会

◆Photo of The GAME 父母会にて、試合風景を撮影しております。  
今回の撮影は近藤さん、加藤さん、桑村さん、島田さん、佐尾山さん、岩崎さん、鈴木さんの  
7名の方々にいただきました。素敵な写真をありがとうございました。





明治大学アメリカンフットボール

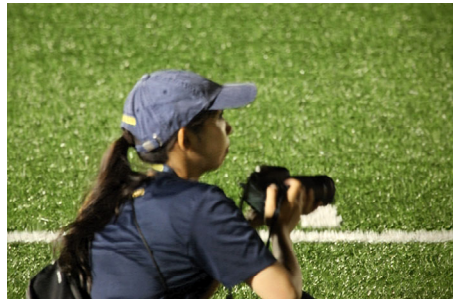
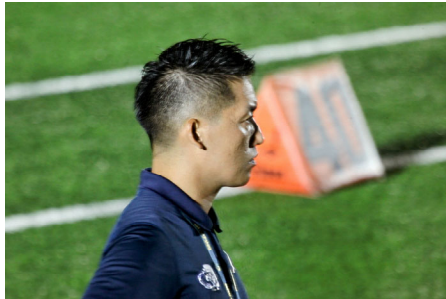
GRIFFINS

超越



2024年度9月号-2-12

明治大学体育会アメリカンフットボール部グリフィンズ父母会





明治大学アメリカンフットボール

GRIFFINS

超越



2024年度9月号-2-13

明治大学体育会アメリカンフットボール部グリフィンズ父母会



■次戦  
 2024年9月21日(土) 19:00 東京ドームで桜美林大学との対戦です。  
 慶應義塾大学戦でのアミノバイタルフィールドでは、たくさんの熱いご声援、誠にありがとうございました。残念ながら敗戦を喫しましたが **NewGRIFFINS**は、この敗戦を期に新しく生まれ変わります。組織力、メンタル、スキル、プレーヤーへの信頼、すべての事に対して向上していきます。  
 桜美林大学とは、今春に対戦し勝利を掴んではいるものの、前戦同様に油断せず、勝ち方にこだわり、圧倒する試合をしていきます。今月はラストマッチ。10月からは東京大学、立教大学、法政大学 11月は早稲田大学、そして甲子園ポウルトーナメントとハードスケジュールが続きます。 **NewGRIFFINS**は今後、選手、学生スタッフ、コーチ陣共に試合を経て成長し、残り試合を全勝で突っ走って参ります。  
 甲子園ポウル優勝を目指して**NewGRIFFINS**を応援していきましょう！皆様、応援の程宜しくお願い致します。 **Go ! GRIFFINS.**